

平成 22 年 11 月

各 位

国土交通省主催：最低車両台数・適正運賃收受ワーキング
調査協力：社団法人全日本トラック協会

「トラック輸送の経営実態に関する実態調査票」のお願い

拝啓

貴事業所におかれましてはご健勝のことと、お慶び申し上げます。平素は国土交通行政にご協力をいただき、御礼申し上げます。

さて、「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」は、本年7月に中間整理を行い、最低保有車両台数のあり方、適正運賃收受に向けた取組みについては、ワーキンググループを設け検討を行うこととしたところです。

「最低運賃・適正運賃收受ワーキング」においては、最低車両台数のあり方等についての議論に資するため、(社)全日本トラック協会と協力し、具体的な指標、データを分析・評価し、実態調査を行い、皆様からのご意見をお伺いすることとなりました。

時節柄お忙しいところを大変恐縮とは存じますが、本趣旨をご理解の上、調査にご協力を頂きますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。**アンケート調査票のご提出期限は、11月30日までに同封の封筒に入れご提出いただけますと幸いです。**

なお、本調査は事業所を対象に実施しているため、1社様で2事業所以上のアンケートを送付している場合がございますが、ご回答をいただけますと幸いです。

貴事業所がご記入頂いた内容は厳重な管理のもと、情報保護に留意いたします。皆様よりお寄せいただいたデータ等については、調査目的以外に活用することはなく、個々のデータとして利用するようなことは決していたしませんので、念のため申し添えます。

敬 具

○ 本調査に対するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【調査内容について】

日本PMIコンサルティング株式会社 担当：中山、石井、高橋 (Tel：03-3556-6180)

トラック輸送の実態に関する調査票

国土交通省主催：最低車両台数・適正運賃收受ワーキング
(協力) 社団法人全日本トラック協会

【ご回答にあたって】

1. 本調査はあなたの営業所に関する調査です。(一部、会社全体の調査事項を含みます。)
2. 調査結果は統計的に処理しますので、個々の回答内容はその「秘密を厳守」いたします。
3. ご記入済みの調査票は「11月30日(火)」までに、同封の返信用封筒にてご返送下さい。
4. ご記入にあたって不明の点につきましては、恐れ入りますが下記までご連絡下さい。
5. 本調査の回答内容については、統計処理のみに使用し、他の目的では使用しません。
(設問についてのお問い合わせ) 日本PMIコンサルティング株式会社
TEL 03-3556-6180 FAX 03-3556-6265
E-mail : c-nakayama@pmic.co.jp

I. 貴営業所の概要についてご回答下さい。

1. 貴営業所の所在地についてご回答下さい。

(1) 本アンケート調査をご回答頂く営業所の所在地はどこですか。

(都・道・府・県)

(市・区・郡)

(2) 他に営業所がある場合、貴社の本社の所在地はどちらですか

(都・道・府・県)

(市・区・郡)

2. 貴営業所が貨物運送事業者として事業(免許等)を開始したのは、何年からですか。

(大正・昭和・平成) () 年から事業を開始した

3. 貴営業所の事業内容をご回答下さい。貴営業所の行っている事業内容について○を付けて下さい。(該当するもの全て)

- ①【一般】貨物自動車運送事業 ②【特積み】貨物自動車運送事業 ③【特定】貨物自動車運送事業
④利用運送事業 ⑤倉庫事業 ⑥港湾運送事業
⑦貨物軽自動車運送事業 ⑧その他 (具体的に)

4. 保有車両台数についてご回答下さい。

(1) 貴営業所に在籍するトラック運送事業用自動車の「現在の保有車両台数(軽自動車を除く)」をご記入下さい。

大型※ (車両総重量 11t 以上、最大積載量 6.5t 以上)	()	両
中型※ (車両総重量 5t 以上 11t 未満、最大積載量 3t 以上 6.5t 未満)	()	両
普通※ (車両総重量 5t 未満、最大積載量 3t 未満)	()	両
けん引車	()	両
被けん引車	()	両
その他 (特殊車両等)	()	両
合 計	()	両

※大型、中型、普通の区分は、運転免許区分と同じです。

(2) 他にも営業所がある場合、会社全体の保有車両台数(軽自動車を除く)は何台ですか。

台 (全車種の合計)

5. 従業員数(非正社員を含む)について、ご回答下さい。

(1) 貴営業所の従業員は何名ですか。また、そのうち運行管理者、整備管理者は何名いますか。

営業所の従業員 名(うち運行管理者 名、整備管理者 名)

※ 運行管理者、整備管理者については、選任されている全体の人数を記載して下さい。

(2) 会社全体の従業員数は何名ですか。

会社全体 名

6. 貴営業所の取引の状況についてご回答下さい。

貴営業所の荷主(トラック運送業務を受託している荷主)について伺います。荷主区別に、概ねの売上構成をご記入下さい。

荷主区分	1. 真の荷主 (メーカー、卸小売、鉱業、建設、農林水産等)	2. 真の荷主の 物流子会社	3. 元請等トラック 運送会社	4. 利用運送事業者 (倉庫業、鉄道、海運、等)	5. その他	合計
売上割合	%	%	%	%	%	100 %
※ 運送取次業者からの仲介である場合は、可能な限り上記1.~4.から選択して下さい。						
※ その他の場合は、5.として下さい。						

7. 下請の利用の状況についてご回答下さい。

荷主等から受注した荷物を下請事業者にも再委託する割合は、どの程度ありますか。

下請に輸送を委託する割合・・・ 全体に対する割合 約 %

※ 下請には、庸車を含みます。

II. 安全の確保関係

1. 貴営業所の車両の平均車齢は何年ですか。

平均車齢 年

⇒ 貴営業所の平均的に車両の使用年数はどのくらいですか。(何年程度で車両を更新しますか。)

約 年で更新

2. 貴営業所においては、輸送の安全性向上に向けて、どのような取組みを行っているのかご回答下さい。

(該当するもの1つ)

①法令事項以外にも、自主的に取組みをしている ②法令事項以外、取組みしていない

⇒ 上記で、「①自主的に取組みをしている」と回答した方にお尋ねします。具体的に、輸送の安全性の向上に向けて、どのような取組みをしていますか。(該当するもの全て)

- ① デジタルタコグラフの導入
 ② アルコールチェッカーの導入
 ③ ドライバーに対する教育・訓練
 ④ 他の別の取組みを実施

(具体的な取組み:)

⇒ 上記で「②法令事項以外、取組みしていない」と回答した方にお尋ねします。法令事項以外に輸送の安全性向上に向けた取組みをしていない理由をご回答下さい。(該当するもの全て)

- ① 輸送の安全性向上に向けた追加的に支出する費用がないから
 ② 対応できる人材がないから
 ③ 追加的に支出する費用に見合うだけの収入が期待できないから(投資メリットがないから)
 ④ どのようなことに取組めばいいか、わからないから
 ⑤ その他(理由:)

3. 貴営業所においてGマーク(安全性優良事業所認定制度)は取得していますか。ご回答下さい。(該当するもの1つ)

- ① Gマークを取得している ② Gマークは取得していない

⇒ 上記で、「②取得していない」と回答した方にお尋ねします。今後取得する予定はありますか。(該当するもの1つ)

- ① 今後取得の予定がある ② 取得の予定はない

⇒ 上記で、「②ない」と回答した方にお尋ねします。取得しない理由は主にどのような理由からですか。(該当するもの1つ)

- ① 荷主との契約で有利になる訳ではなく取得するメリットがない
② 取得しても現行の優遇措置(違反点数の消去、IT点呼の導入、保険料の割引等)ではメリットが感じられない
③ 取得するための経済的な余裕がない
④ 取得するための人員、時間的余裕がない
⑤ 取得のためのノウハウがない
⑥ 取得要件を満たしていない
⑦ その他(具体的に:)

4. 貴営業所において、過去1年間の事故件数をご回答ください。

事故件数 件 (うち死亡者を含む事故件数 件)

※ここでいう『事故』とは、自動車事故報告書の提出の対象となる事故のことを指します。

Ⅲ. 環境に対する取組み

1. 貴営業所には環境対応車を導入していますか。(該当するもの1つ)

- ① 環境対応車を導入している ② 環境対応車は導入していない

⇒ 上記で、「①導入している」とご回答した方にお尋ねします。環境対応車は何台保有していますか。

1. 導入台数の内訳

- ①ハイブリッド車 ()台
②CNG車 ()台
③ディーゼル車(ポスト新長期規制適合車) ()台
④バイオ燃料
⑤その他(具体的に:) ()台
合 計 ()台 … A

2. 保有車両台数に対する割合

()%

※ A(環境対応車の台数) ÷ 保有車両台数 × 100

※環境対応車とは、CNGトラック、ハイブリッドトラック等環境性能の高いトラックをいいます。

2. 貴営業所では、環境への取組みをアピールする認証等を取得しているかご回答下さい。(該当するもの全て)

- ① ISO14000 シリーズを取得している
② グリーン経営認証を取得している
③ その他(種類:)

IV. 経営状況関係

1. 貴社における経営状況について、以下の内容にご回答下さい。(この欄は、営業所単位ではなく会社単位の数字をご回答下さい)

項目	項目の概要	貴社の実績
① 営業収益(トラック)	トラック運送事業の運送収入+運送雑収の合計	千円
② 営業収支率(%)	トラック運送事業における営業収入÷営業費用	%
③ 経常収支率(%)	トラック運送事業における経常収入 ^{※1} ÷経常費用 ^{※2}	%
④ 平均給与月額(千円)	トラック運送事業における 総人件費 ^{※3} ÷支給延人員 ^{※4} (不明な場合は、総人件費÷従業員数÷12月として計算可)	千円

※1:経常収入=営業収入+営業外収益(金融収益等)

※2:経常費用=営業費用+営業外費用(金融費用等)

※3:給与、諸手当、賞与等を含む総支給額

※4:人月とする

2. 貴営業所における輸送の効率化に対する取組みについてご回答下さい。貴営業所ではどのような取組みを行っていますか。(該当するもの全て)

- ① 運行管理に関する管理システム(動態管理)
 ② 車両管理に関する管理システム
 ③ 車両の位置管理システム(GPS、携帯電話等を活用したシステム)
 ④ 積み荷に関する管理システム
 ⑤ 共同輸配送に関する管理システム
 ⑥ 環境改善(燃費向上等)に関する管理システム
 ⑦ その他(具体的に: _____)

V. 運賃関係

1. 貴営業所の取引荷主等との契約状況についてご回答下さい。

- (1) 荷主や元請事業者とは、書面で契約を取り交わしていますか(○印は1つ)。

- ① 原則として書面で契約を取り交わしている
 ② 原則として口頭契約のみ
 ③ 書面による契約と口頭契約の場合がある
 ④ その他(具体的に: _____)

⇒ (1)で③と回答された方に伺います。

どのような場合に書面による契約と口頭契約を使い分けていますか。

- ① 荷主の属性等により書面契約としている
 ② 荷主との間の契約期間に応じて書面契約としている
 ③ 荷主からの発注形態や状況に応じて口頭契約としている
 ④ その他(具体的に: _____)

- (2) 書面による契約を行っている方に伺います。契約書面(契約書、覚書、見積等)において、基準運賃や車両留置料等の料金、割増・割引の条件、有料道路使用料などの実費を支払いを求める条件を明記していますか。明記しているものに○を付けて下さい。(○印はいくつでも)

- ① 基準運賃
 ② 運賃の計算式
 ③ 料金(車両留置料、地区割増等)
 ④ 割増・割引条件
 ⑤ 有料道路使用料の実費
 ⑥ その他(具体的に: _____)

(3) 適用している運賃単価の水準は、主にどのように決められていますか(○印は1つ)。相手によって対応が異なる場合は、最も取引量の多い荷主等との取引について教えて下さい。

- ① 貴営業所が提示した運賃タリフをベースに協議して決めている
- ② 荷主企業が提示した運賃をベースに協議して決めている
- ③ 特段、運賃タリフを定めておらず、その都度貴営業所と荷主企業が交渉して決めている
- ④ その他(具体的に_____)

(4) 運賃・料金の改定についてお伺いします。貴営業所の主要な取引先について改定の頻度はどの程度ですか。(○印は1つ)相手によって対応が異なる場合は、最も取引量の多い荷主等との取引について教えて下さい

- ① 契約を新たに更改する時期
- ② 契約期間に限らず数カ月に1回程度
- ③ 契約期間に限らず半年に1回程度
- ④ 契約期間に限らず1年に1回程度
- ⑤ 改定していない
- ⑥ 必要となった時期(具体的に_____)

2. 荷主と契約しているトラック運送の運賃体系について、ご回答下さい。最も多く適用しているものに

◎印(1つ)を、その他に適用しているものに○印(いくつでも)を付けて下さい。

- (1) 積合せ運賃(特積み・一般) ※事業種別に○を付けて下さい。特積み、一般の別に○を付けて下さい。
 - ① 個建て運賃(重量) _____
 - ② 個建て運賃(容積) _____
 - ③ 個建て運賃(その他:(例:パレットの形状等貨物形状当たり)_____)
 - ④ その他(具体的に_____)
 - (2) 宅配便運賃
 - (3) メール便運賃
 - (4) 貸切運賃
 - ① 距離制運賃
 - ② 時間制運賃
 - ③ その他(具体的に_____)
 - (5) 特殊運賃
 - ① 国際大形海上コンテナ
 - ② 鋼材運賃
 - ③ タンク車運賃
 - ④ その他(郵便物、航空貨物地上運送など、具体的に_____)
 - (6) 従価制又は料率制運賃*・料金(貨物の価格に一定率の料率を乗じて算出する運賃)
 - ① 具体的な設定方法: _____
 - (7) その他の運賃(具体的に_____)
- 〔※ 商品の価格に一定の料率を乗じて計算する運賃。例えば、商品1ケース当たりの価格に対して○%を乗じたものを運賃とするなどとしているもの。〕

3. 上記2.(7)「従価制又は料率制運賃」に○をつけた方に伺います。

(1) 従価制又は料率制運賃契約で原価を賄う運賃を収受できていますか。

- ① 収受できている
- ② 収受できていない
- ③ 荷主の出荷金額によってはできないときがある
- ④ 分からない

(2) 契約の相手方となる荷主等の業種は何ですか。次の中から選んで下さい。

業種： _____

(下記より選択してください)

1. 農産品	14. 化学製品(硫酸、ソーダ等)
2. 水産品	15. 化学肥料(飼料等含む)
3. 林産品(原木、製材、薪炭等)	16. 紙・パルプ等
4. 鉱産品(砂利、砂、石材等)	17. 繊維工業品(織物・衣服等)
5. 木材・木製品	18. 食料工業品(飲料、食料品等)
6. 金属(鉄鉱、電線、ケーブル等)	19. 日用品
7. 金属製品(建設・建築用金属製品等)	20. 廃棄物
8. 電気製品(電子部品・デバイス製造業等)	21. コンテナ
9. 機械部品	22. 繊維工業(衣服、繊維製品等)
10. 輸送機械	23. 紙製品(書籍等)
11. 窯業品(セメント、ガラス等)	24. 雑貨
12. 石油製品(軽油、ガソリン、重油等)	25. 積み合せ
13. 石炭製品(コークス等)	26. その他()

(3) 従価制又は料率制運賃を採用している場合、原価割れについて、契約上リスクヘッジができていますか。

- ① リスクヘッジはできている
- ② リスクヘッジができていない

⇒ 上記(3)で「①できている」と回答を頂いた方に伺います。具体的にどのようにリスクヘッジをしていますか。

- ① 月間最低保証金額を契約書に明記している
- ② (例えば、雑貨類、薬品類、飲料類など)商品カテゴリーに分類し、カテゴリー毎に異なる料率(%)を設定することにより、商品の価格差による運賃の変動を抑えている
- ③ 基本の料率(%)内で輸送・配送する距離を設定し、その距離を超える納品先には追加料金を加算する
- ④ その他(具体的に: _____)

4. 運送原価の計算についてご回答下さい。貴営業所においては原価計算を行っていますか。

(該当するものに○をつけて下さい。)

- ① 常に運送原価の計算を実施している
- ② 原則として運送原価の計算を実施している
- ③ 必要に応じ運送原価の計算を実施している
- ④ あまり実施していない
- ⑤ 全く実施していない

⇒ 5.において、⑤と回答した以外の方に伺います。原価計算の結果はどのように活用していますか。(○印はいくつでも)

- ① 運賃・料金の設定に活用している
- ② 荷主との交渉に活用している
- ③ 荷主毎の採算性分析に活用している
- ④ 車両や運転者毎の採算性分析に活用している
- ⑤ 車両の買い換え、設備投資、人件費水準等の検討の参考としている
- ⑥ その他(具体的に _____)

⇒ 5.で「①常に運送原価計算は実施している」又は「②原則として運送原価の計算を実施している」と回答をした方に伺います。原価計算を行うことによって原価を超える運賃を収受できていますか。(○印はひとつ)

- ① 収受できている
- ② 概ね収受できている、
- ③ さほど収受できていない
- ④ ほとんど収受できていない
- ⑤ 分からない

5. 運送原価を無視して、仕事を受注することがあります。ご回答下さい。(該当するもの1つ)

- ① 頻繁にある ② 時々ある ③ あまりない ④ 全くない ⑤ 分からない

⇒ 上記で、「①頻繁にある」または「②時々ある」と回答されたに伺います。
その理由をご記入下さい。(該当するもの全て)

- ① 一部の運行が赤字でも、全体として黒字になればいいから
② 今後の経営拡大を考え、深く食い込みを図りたいから
③ 取引先との関係維持を図るためやむを得ないから
④ 車両、運転者の稼働率をあげるため
⑤ その他 (具体的に)

6. 下記の割増(割引)運賃、諸料金、実費や付帯するサービスに対する收受状況はどのような状況にありますか。当該料金や実費等の契約での締結状況と、收受の実態についてご回答下さい。

(○印は項目毎に1つずつ)

項 目	契約の有無	運賃割増等は收受できているか	
運賃割増の適用	① 品目割増	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	② 特大品割増	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	③ 特殊車両割増	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	④ 悪路割増	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑤ 冬期割増	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑥ 休日割増	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑦ 深夜早朝割増	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑧ その他の運賃割増の適用 (具体的な適用方: _____)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
割引適用	① 長期契約割引	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	② 往復貨物の割引	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	③ その他の割引(内容: _____)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
諸料金	① 車両留置料	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	② 地区割増料	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	④ 集貨料、配達料(積合せ)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑤ 再配達料(積合せ)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑥ 移送料(積合せ)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑦ 連絡運輸中継料(積合せ)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑧ 貨物の持込み、引取に係る減額(積合せ)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑨ 有料道路使用料	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑩ 保管料(積合せ)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ
	⑪ その他の諸料金 (具体的な適用方: _____)	1. 有、2. 無、3. 非該当	1. いる、2. いない、3. 一部のみ

7. 荷主との間において、高速道路料金、荷卸し先での倉庫格納等の作業を要請された上で実施しているにも拘わらず、料金や実費を收受できていない事例どの程度ありますか。(どれか1つに○)

- ① 頻繁にある ② 時々ある ③ あまりない ④ 全くない

⇒ ①、②と回答された方に伺います。その中で最も多いのはどの作業ですか。

[最も多い事例: _____]

8. 到着遅延に対するペナルティ、協賛金の要請、運賃総額の値引き要請、代金支払いの遅延など、運賃収入の低下をもたらす行為が行われることはありますか。(どれか1つに○)

- ① 頻繁にある ② 時々ある ③ あまりない ④ 全くない

⇒ ①、②と回答された方に伺います。その中で最も多いのはどの様な内容ですか。

[最も多い事例： _____]

9. 「トラック運送業における下請・荷主適正取引推進ガイドライン」についてご回答下さい。

(1)国土交通省が策定した「トラック運送業における下請・荷主適正取引推進ガイドライン」(平成20年3月策定)はご存じですか。

- ① はい ② いいえ

⇒ (2) (1)で「①はい」と答えた方に伺います。本ガイドラインは活用されていますか。

- ① 荷主との交渉の際に活用している
② 元請事業者との交渉の際に活用している
③ 特に活用はしていない

具体的な活用事例があれば具体的に教えて下さい

(具体例： _____)

VI. その他

最後に、トラック運送業界の今後の課題としてどのようなものがあると思いますか。日頃お感じになっていらっしゃる事があれば、ご自由に回答下さい。

このアンケートのご回答について、ヒアリング(電話・訪問)にご協力いただくことはできますか。

- ①はい ②いいえ

なお、ヒアリング調査にご協力いただける場合には、貴営業所名、住所等を下記にご記入ください。
なお、頂いた情報は本件の調査以外には使用いたしません。

貴営業所名		記入者	
住所		電話番号	()

アンケート調査にご協力頂き誠にありがとうございました。